

第40回船橋市入札監視委員会議事概要

1. 日 時 令和6年5月8日(水) 午後2時00分～午後4時20分
2. 場 所 市役所本庁舎 6階 入札室
3. 出席者 (委員) 片岡委員長・小泉副委員長・宮澤委員
(工事担当課) 植田下水道部長・吉川道路部長・西澤下水道施設課長・波多野道路建設課長・廣川下水道施設課長補佐・齋藤下水道施設課長補佐・鈴木道路建設課長補佐・坂野道路建設課長補佐ほか担当課職員3名
(事務局) 林企画財政部長・岩埜契約課長・中澤契約課長補佐 ほか契約課職員4名

4. 概 要

議題1 入札及び契約手続の運用状況等の報告について

令和5年10月1日から令和6年3月31日までの間の入札及び契約手続の運用状況と本市の入札不調の状況等について、事務局より報告を行った。

【委員からの質問、それに対する船橋市の回答等】

質問 下水道の補助金が減った理由は、どのようなものか。

回答 国では、補助金を下水道の普及率が低いところに重点的に配分するという方針を取っている。船橋市では令和2年度に普及率90%を超えたため、一定程度減額は想定していたが、令和5年度については要望額の50%という想定外の大幅な減額となった。

質問 例年夏休みを使って行っていた学校の耐震工事は終わったのか。

回答 耐震工事は終わって、学校のトイレ改修工事が増えている。

議題2 抽出事案の説明及び審議について

新船橋橋架け替えに伴う橋梁下部工工事、排水機場の非常用発電機更新工事の合計2事案について、抽出委員による抽出理由の説明及び審議を行った。

一般競争入札

1 新船橋橋架け替えに伴う橋梁下部工工事

【委員からの意見・質問、それに対する船橋市の回答等】

質問 一連の工事について、同業者1者のみの入札が続いているのはなぜか。

- 回答 工事の方法が特殊だという認識はないが、交通量等の現場条件を踏まえて、他の業者が入札しなかったと考える。
- 質問 施工実績を東京湾における海上での工事の元請実績とした理由はなぜか。
- 回答 東京湾内の工事は、海上保安庁や千葉県港湾事務所等との協議が必要になり、海上工事の知識や技術が不可欠と判断したため、東京湾内の工事实績がある業者を入札参加条件とした。

一般競争入札

2 排水機場の非常用発電機更新工事

海神第二排水機場非常用発電機更新工事

日の出第一排水機場非常用発電機更新工事

【委員からの意見・質問、それに対する船橋市の回答等】

- 質問 市内に更新しなければならない非常用発電機は何か所あるのか。
- 回答 排水機場は船橋市の中で25か所あり、そのうち規模の大きい13か所に発電機がある。
- 質問 応札者が1者と少ない理由は。
- 回答 専任配置可能な技術者が不足しているためと考えられる。令和4年に発注した本件より小型の非常用発電機の更新工事では、機械の汎用性が高く、監理技術者も不要のため、入札者が10者以上いた。
- 質問 今後他の非常用発電機を更新する際も、同じように1者応札・高落札率になってしまうのか。
- 回答 日の出第一排水機場規模の発電機は他にもあるので、その可能性もある。